

じつは10人に1人の
お子さんに!

ご存知ですか?

先天性欠如歯

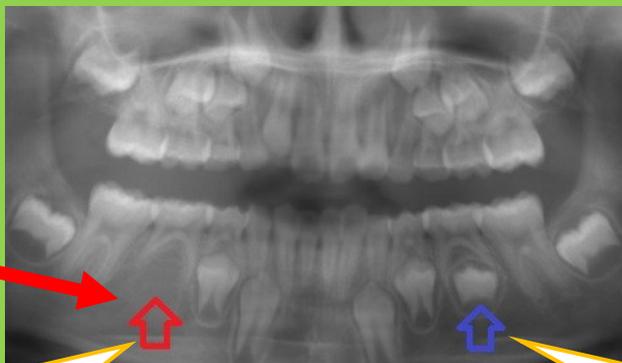


「先天性欠如歯」って聞いたことありますか?本来なら永久歯は28本生えるはず。でもじつは、2007年に行われた大規模調査の結果、生まれつき永久歯の本数の少ないお子さんが10人に1人の確率でいることがわかりました。誰がなっても不思議はない先天性欠如歯。おとなになると治療のハードルが上がるのでお子さんの先天性欠如歯を見逃さないようパノラマエックス線検査を受けましょう!

先天性欠如歯の症例

あれれ?

ここに永久歯の
歯胚が見当たりません。
将来、小臼歯が1本生え
てこないでしょう。



発見!
先天性欠如歯です。

永久歯の芽(歯胚)
が育っています

先天性欠如歯とは、本来ならあごのなかにはできるはずの歯の芽(歯胚)ができなかったり、できても育たなかったことによって起こります。特定の病気や障がい、放射線治療の影響などが原因の場合もなかにはありますが、ほとんどのケースでは原因不明です。歯がないために噛み合わせや噛む効率が悪くなったり、見た目に良くないなどさまざまな問題が起こりがちなので注意が必要です。

どうしてなるの?

なにかの拍子で、永久歯の芽ができなかったと考えられます。特定の病気や障がいに特徴的にあらわれる先天性欠如歯もなかにはあるのですが、多くの場合は、直接の原因は不明です。

どうやって調べるの?

永久歯の歯胚は3歳頃にはおよそできており、かなり正確な判断が可能です。欠如歯の場合乳歯のむし歯予防が最重要課題。遅くとも小学校に入る前にはパノラマX線写真を撮っておきましょう!